

## 第8章 河道特性

松浦川は標高が約 400～500m の山地を源流としており、河床勾配は約 1/500～1/10,000 と比較的緩勾配である。一方、巖木川は、作礼山さくれいざん(標高 887m)、八幡岳はちまんだげ(標高 764m)と比較的高い山地を抱えており、河床勾配は約 1/50～1/500 と急勾配になっている。

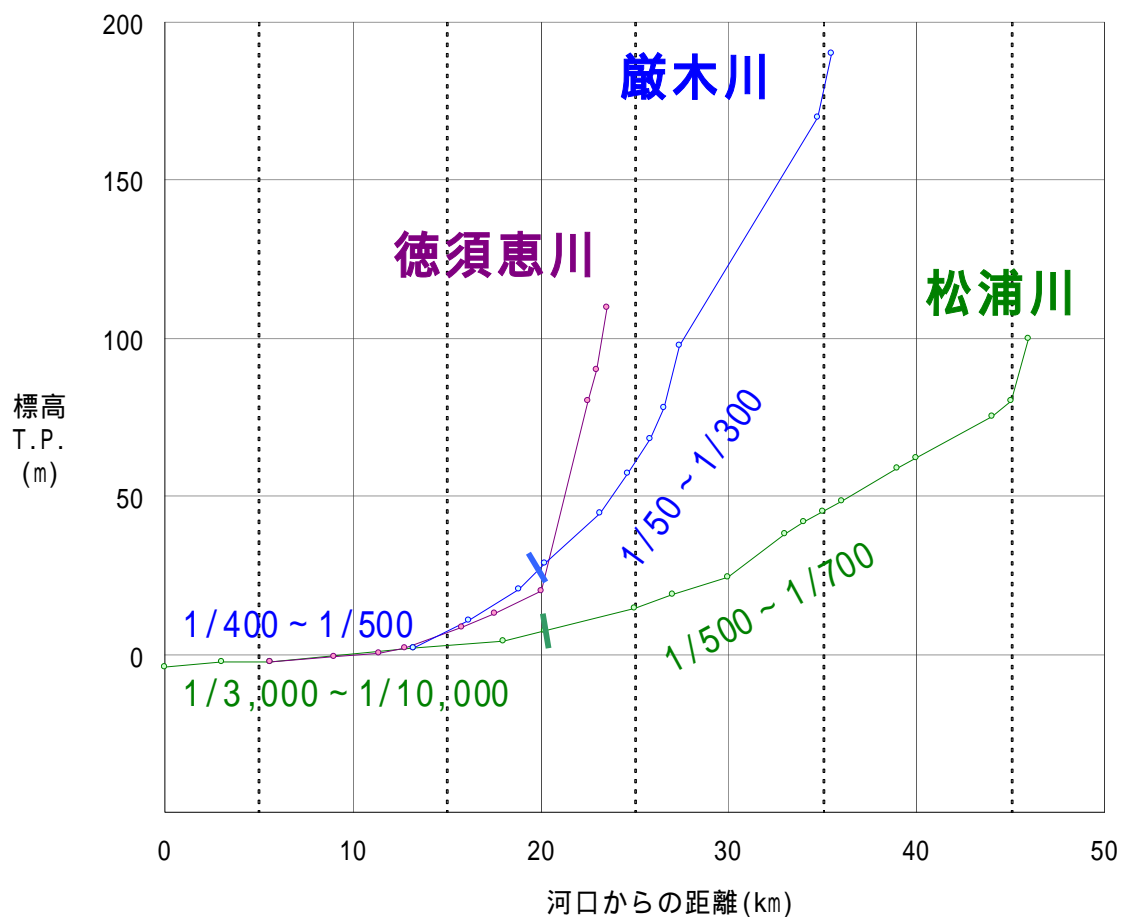


図 8- 1 河床の縦断モード図

## 8 - 1 上流部の河道特性【31k4 付近より上流】

青螺山を源に発した松浦川は、山内町・武雄市を貫流し、烏海川などの支川を合わせて伊万里市へ入る。

この区間は山間平地であり、河床は岩河床である。

### 【烏海川合流点付近の河道の状況】



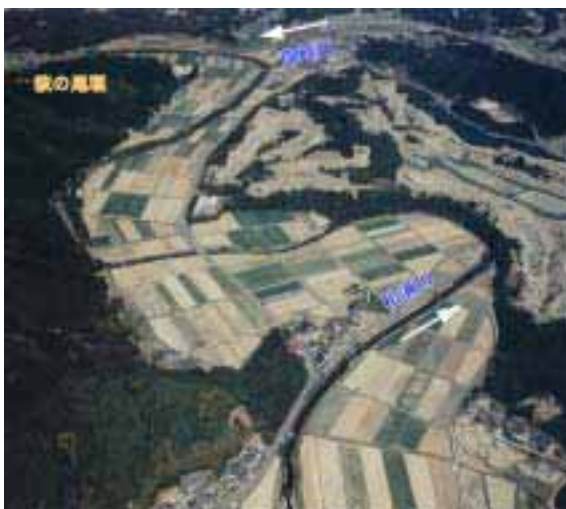
(出典：武雄河川事務所)

### 【烏海川合流点付近の河道の状況】



(出典：武雄河川事務所)

### 【萩の尾堰より上流の河道の状況】



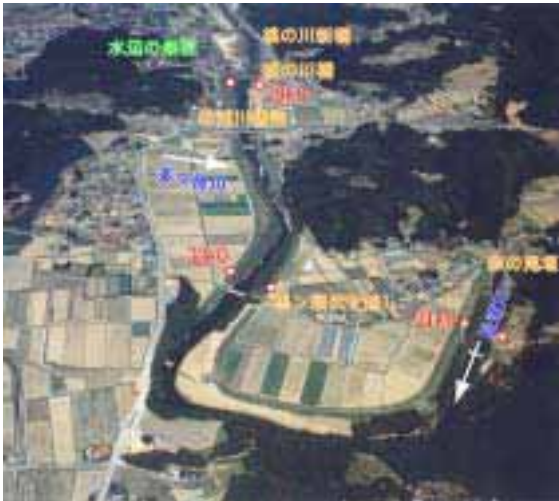
(出典：武雄河川事務所)

## 8 - 2 中上流部の河道特性【19k0～31k4 付近】

伊万里市を貫流し、黒尾岳川・井手口川などの支川を合わせ、北上を続ける。

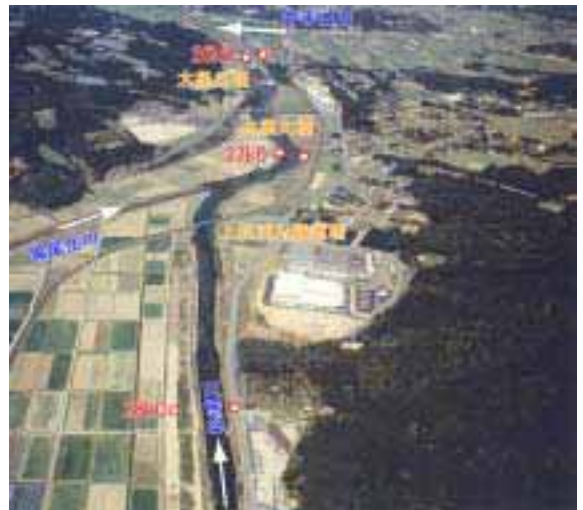
この区間の河床勾配は、1/700～1/500 程度であり、河床は岩河床となっている。

### 【31k 付近の河道の状況】



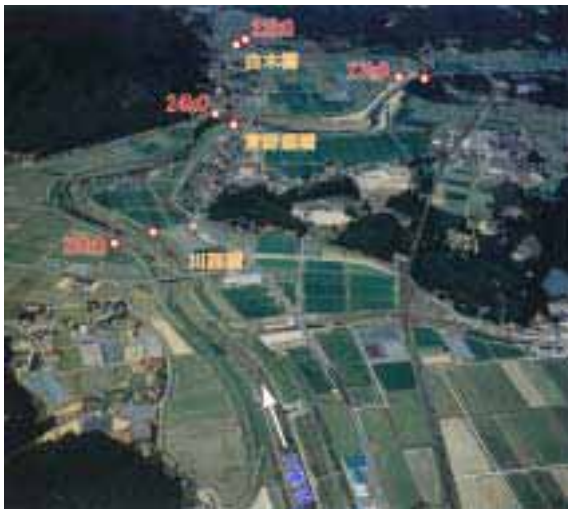
(出典：武雄河川事務所)

### 【黒尾岳川合流点付近の河道の状況】



(出典：武雄河川事務所)

### 【25k0 付近の河道の状況】



(出典：武雄河川事務所)

### 【22k0 付近の河道の状況】



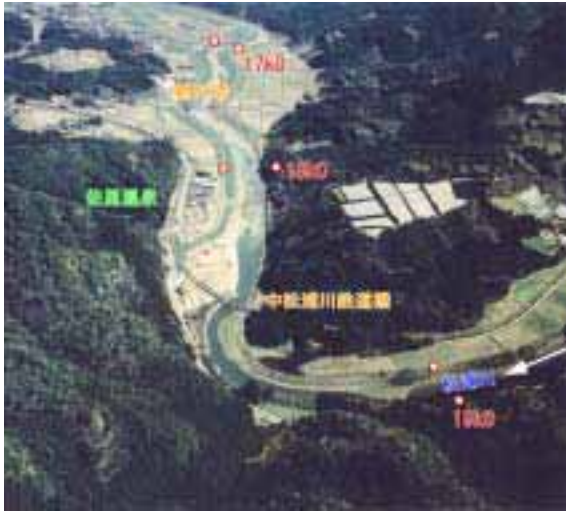
(出典：武雄河川事務所)

### 8 - 3 中流部の河道特性【11k0～19k0 付近】

伊万里市の駒鳴地区(山間狭窄部)を抜け、唐津市相知町に入り、巖木川・伊岐佐川などの支川を合わせる。

この区間の河床勾配は 1/1,300 程度で、河床の代表粒径は、 $dR=30\text{mm}$  程度である。(山間狭窄部は岩河床)

#### 【中松浦川鉄道橋付近の河道の状況】



(出典：武雄河川事務所)

#### 【アザメの瀬付近の河道の状況】



(出典：武雄河川事務所)

#### 【巖木川合流点付近の河道の状況】



(出典：武雄河川事務所)

#### 8 - 4 下流部の河道特性【3k0～11k0 付近】

下流松浦大堰の湛水区間であり、唐津市相知町を北上し唐津市街地へと貫流する。途中、徳須恵川などの支川を合わせる。

この区間の河床勾配は  $1/10,000 \sim 1/1,700$  の緩勾配で、河床の代表粒径は、 $dR=1.2 \sim 5.7\text{mm}$  である。

【11k0 付近の河道の状況】



(出典：武雄河川事務所)

【9k0 付近の河道の状況】



(出典：武雄河川事務所)

【徳須恵川合流点付近の河道の状況】



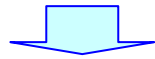
(出典：武雄河川事務所)

## 8 - 5 河口部の河道特性【河口～3k0 付近】

松浦大堰下流の汽水域を北上し、半田川など合わせ玄界灘に注ぐ。

河口部は、狭小・屈曲する特異な形状を呈する。狭小部川幅は約 200m に対し、上流側の川幅は約 400m となっている。

河口部は、侵食・堆積を繰り返しながらも干潟等の位置に大きな変化は見られず、概ね安定していると言える。



河口部は、大きな変化はなく、砂州の発達による河口閉塞もない。



(出典：武雄河川事務所)

## 8 - 6 徳須恵川の河道特性【0k0～14k4 付近】

支川徳須恵川は、伊万里市を北上し、途中板治川、行合野川、稗田川、田中川等を含ませ、唐津市を貫流し、松浦川本川に合流する。

河床勾配は、山間部(稗田川合流点)を境に急変し、下流は  $1/5,700 \sim 1/1,800$ 、上流は  $1/900 \sim 1/300$  である。河床の代表粒径は、下流は  $dR=1.7 \sim 3.6\text{mm}$  で、上流は岩河床である。また、山間部は蛇行が激しい。

【田中川合流点付近の河道の状況】



(出典：武雄河川事務所)

【稗田川合流点付近の河道の状況】



(出典：武雄河川事務所)

【水留地区(12k0)付近の河道の状況】



(出典：武雄河川事務所)

## 8 - 7 巖木川の河道特性【0k0～14k6 付近】

支川巖木川は、周辺山地の逕流を集めて南流し、唐津市旧巖木町下田で天川を合流し、西南西に流れを変え、同町立草で平地部に達し、唐津市相知町で松浦川に合流する。

河床勾配は 1/50～1/500 で、河床の代表粒径は下流約 5km 迄は  $dR=45\text{mm}$ 、上流は岩河床である。

【横枕堰付近の河道の状況】



(出典：武雄河川事務所)

【10k0 付近の河道の状況】



(出典：武雄河川事務所)

【巖木ダム】



(出典：武雄河川事務所)